

WRITTEN BY MICORLIN

No.001

# 受験戦奏

I

大学受験——

ピアニストとして  
世界で活躍している  
私にとっては、

たやすいもの  
だった——

けれど——

芸術大学

# 受験会場

私は納得が  
いかなかった


これで  
本当に、

良いの  
だろうか？

私の音楽を、


こんなちつぽけな  
場所におさめて  
しまうのか？






だから  
私は――


受験戦奏に  
挑んだ――




まあ、君の学力  
なら、心配いら  
ないよ




あそこは  
弦楽器なら  
比較的受か  
りやすいつ  
て聞き




はあ……、  
でも……



それを分かった上  
で、お母さんは  
出願してくれたん  
だろう



君も受けるだけ  
受けてみなさい



普通の生徒は、  
志望校に合格する  
ために、必死に  
勉強してるんだ



失礼  
しました

マコリ



はあ...



受験  
.....

しなきや  
いないん  
だよね.....

# 武宮音楽高等学校

## 3年 コントラバス専攻 妃久井 やす子

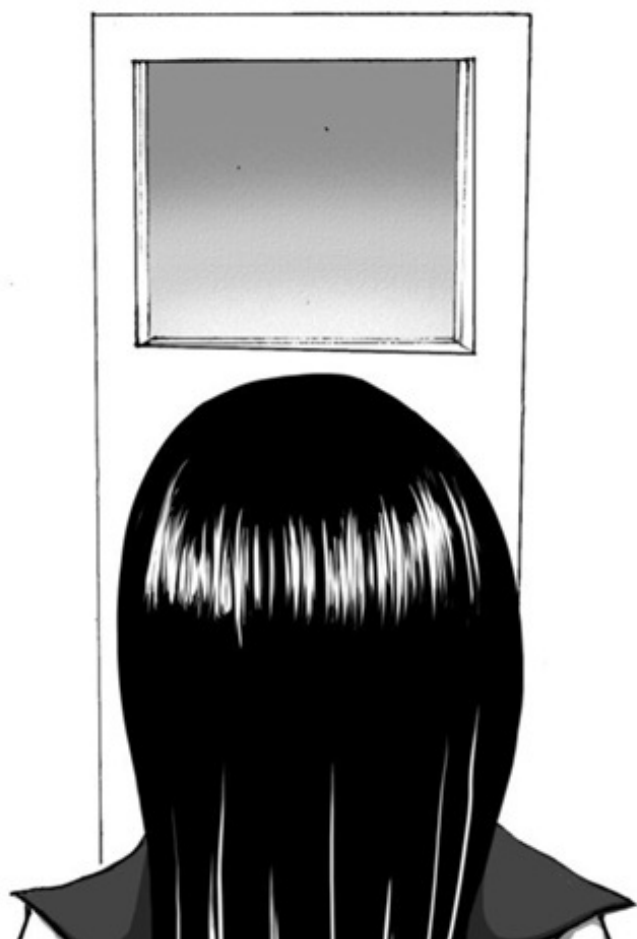


屋上や保健室で  
何もせずに  
過ごす日々――

たまたま学校に  
来ても、  
授業は受けず、



屋上

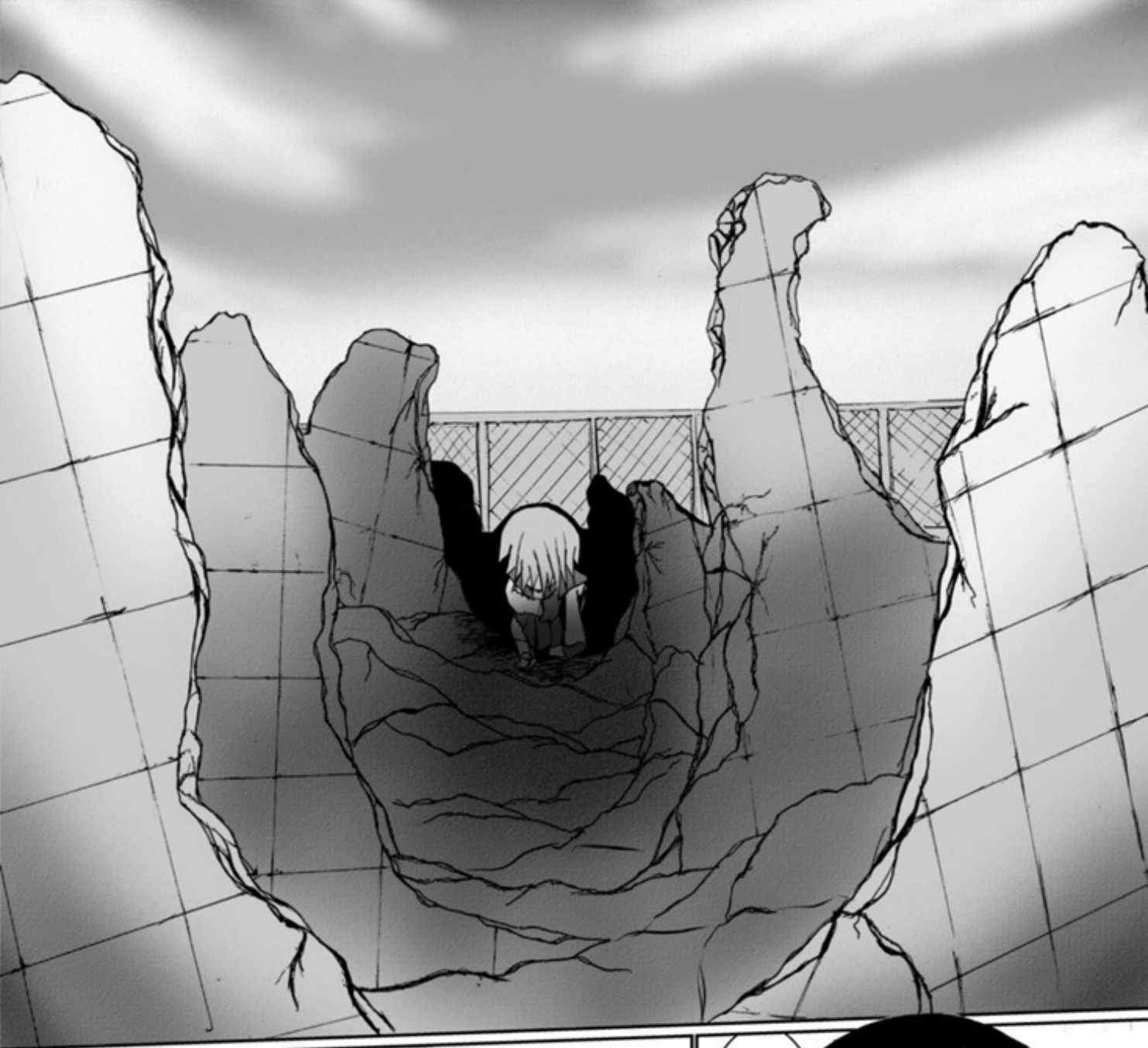


不良みたい……

これじゃあ、  
まるで……











演奏中の  
聞き間違い？



トリル……？



じり…

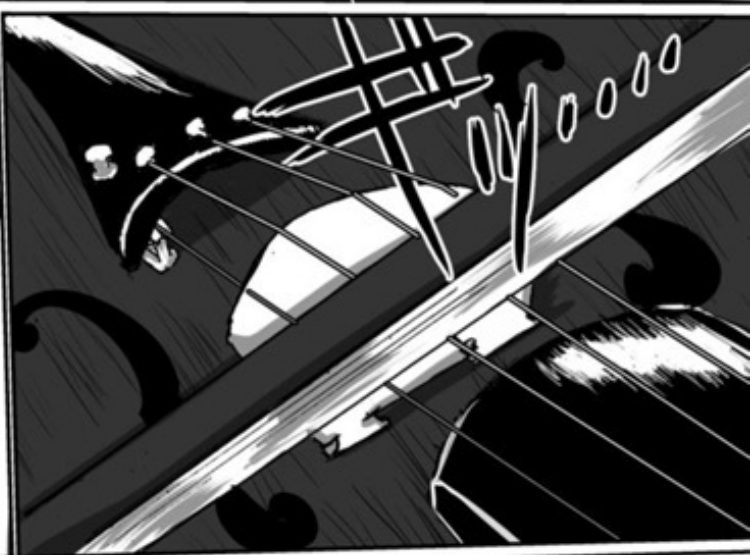


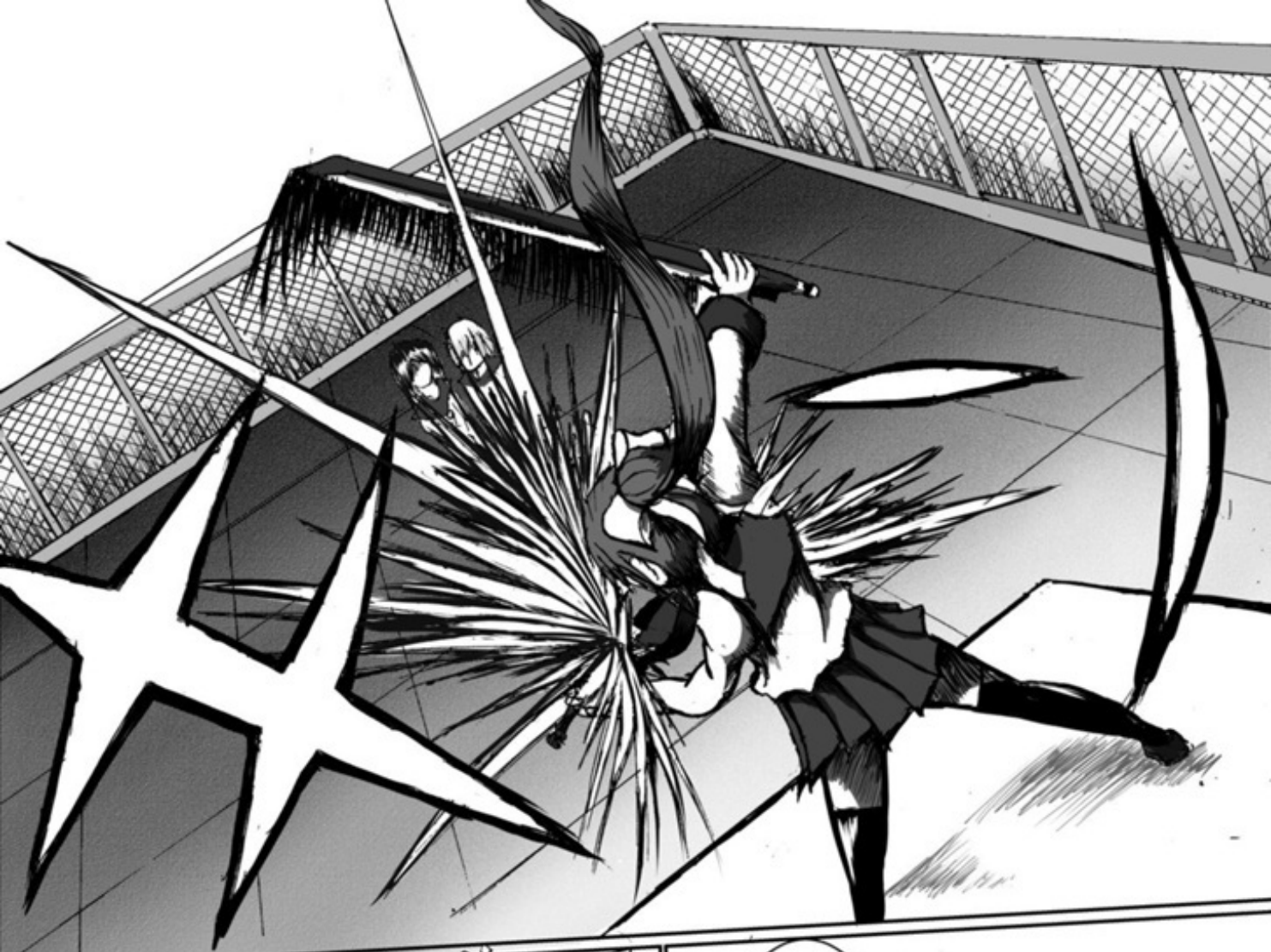
こ、光線？

幻覚は  
ないか？









伏せろっ!!

ちよ、ちよっと、  
何あれ!?

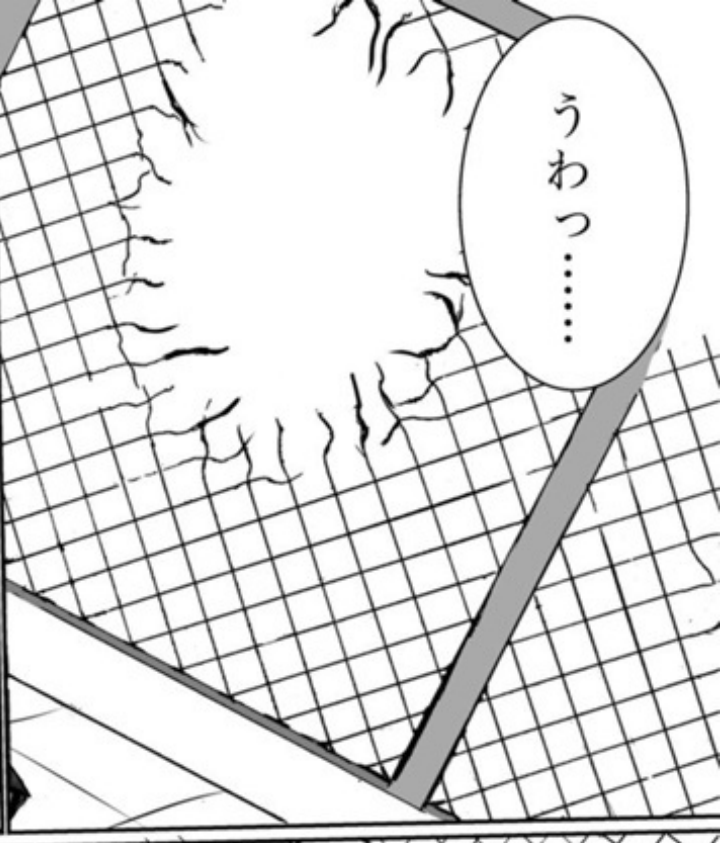
危ない!!





なんだよ……

ありやあ……



うわっ……



遅い！

E!!  
ハーモニクス、



そのくらいで  
ビビってちゃ、

舞台の上でも  
勝てないわよ

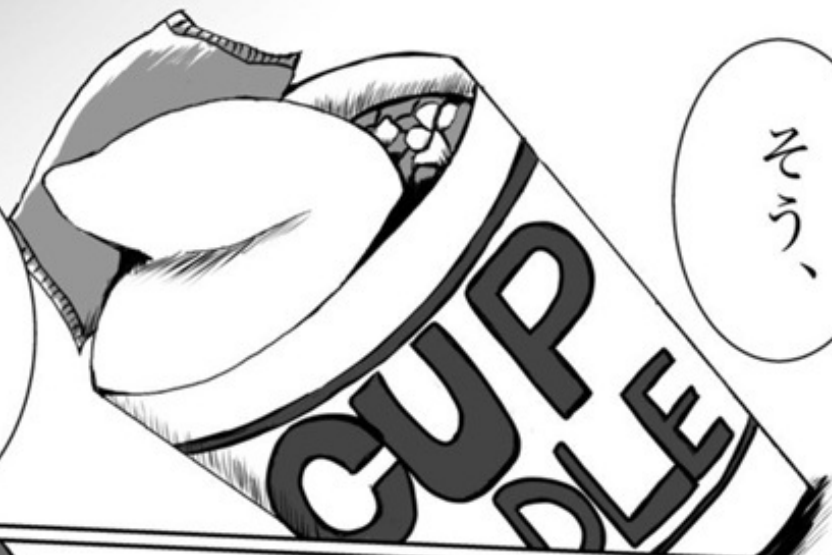
くっ……











そう、

これは  
戦争



あー  
つかれた……



『受験戦奏』さ



は、  
はあ……

戦奏？



でも、  
どうやって？

戦う、  
つて……

もつとも、  
試験といつても  
期間内なら  
いつでも出来る

お互いに、  
戦いたい時に  
だー

ちようど  
さつき屋上では、  
試験が行われて







あたしは  
ピアノだよ

あはは

うーん、  
ちよつと違う  
かなー？



つてことは、  
ヴァイオリン  
専攻なんですね

ううん、  
弦楽器なら  
何でもオッケー  
だよー



使える楽器は  
ヴァイオリンだけ  
なんですか？



あはは

ただ、  
ちよつと  
ワケありで  
してねー……



ピアノでは  
参加できない  
から、ですか？

ううん、  
ピアノも一応  
参加できるよー



彼女は既に  
世界のプロの  
ピアノニストでね、  
国内外の賞も  
いくつも持って  
いるんだ。

だから、  
一般的な入学試験  
なら、どんな音大でも  
受かってしまうぐらい  
なんだよ。



だとしたら、  
何故……？

いや、既に  
他の大学も  
受けてるんだよ

だけど……

こえん  
ごめん

?



まあ、音楽性の  
違いとか、  
そんな感じ  
できあ!



それは……

でもやっぱり、  
受験戦奏に参加  
する理由が——

音楽で世界を、

私——

もっともって、  
奏でたいんだ



誰も知らない  
音楽で、

世界に音楽の  
革命を起こし  
たいんだ——



あとは  
お父さんが、  
ヴァイオリン  
工房を営んでる  
のもあるかな？

あぁ、だから  
あんなに派手に  
戦えるんですね



すごい……  
さすがという  
か……

それに比べて、  
私は……

ちよつと  
大げさじゃ  
ない？

え、何が？

何がって、  
うーん……

回答になっ  
てない気も  
するし……



そうそう、  
修理や替えは  
心配無しって  
ことさ！

それは結構  
有利な立場  
ですよ……



ちようだいー

あ、  
どうぞどうぞ



ころんっ



きなこもち……

？



もち

もち

なんだか……  
ギヤツプが……



ばあああああ

ええ!?



ひくいひくいです、  
妃久井やす子  
です……

お昼ご飯誘って  
おいて、名前も  
聞かずに君は……

あ、その、



そういえば、  
この子の名前  
って聞いたの？

モチ田  
きな子さん

そんな名前が  
あるかっ!!



食べ終えたから  
元に戻す

もち  
ゆーな

てんのうじ  
天王寺リヨク

そんで、  
こつちが



ボクは  
日清るう子

ちなみに  
作曲科だよー

妃久井さん  
かあし。



は、はいっ!!

まあ、  
そんなところで、



ただ怯えて  
逃げていた  
私……

こんな人に、  
良い人たちが  
いたのに……



やす子

よろしくね



高校生活も  
残りわずか  
だけど——



よろしく、  
お願いします——



は、はいっ!



# 保健室





彼氏も  
出来ちゃう  
かもよお？

そんな  
そんな……



でも、  
大学は楽し  
いよー？

サークルとかに  
無理に入らなく  
ても、音大なら  
自然に友達も出来る  
と思うし



音楽も勉強も  
好きだから  
いいんですけど、

これからさらに  
学生生活を  
続けるっていう  
のが……

そうね  
え……



あら、今が  
そのチャンス  
じゃない！

乗り超えちゃえ  
ば、あとは気ままに  
キャンパスライフを  
過ごせると思うよ？

でも、私は  
乗り越えられる  
気がしません……



確かに、中学高校の  
頃って、一度大きな  
壁にぶつかっちゃう  
子って多いの

だけど、それって  
ほとんどの時間が  
解決してくれるの

ほとんどの子が、  
って言ってもいい  
かもしれないわね



時間はあまり無い  
けど、とりあえず  
あせらず

ねっ？



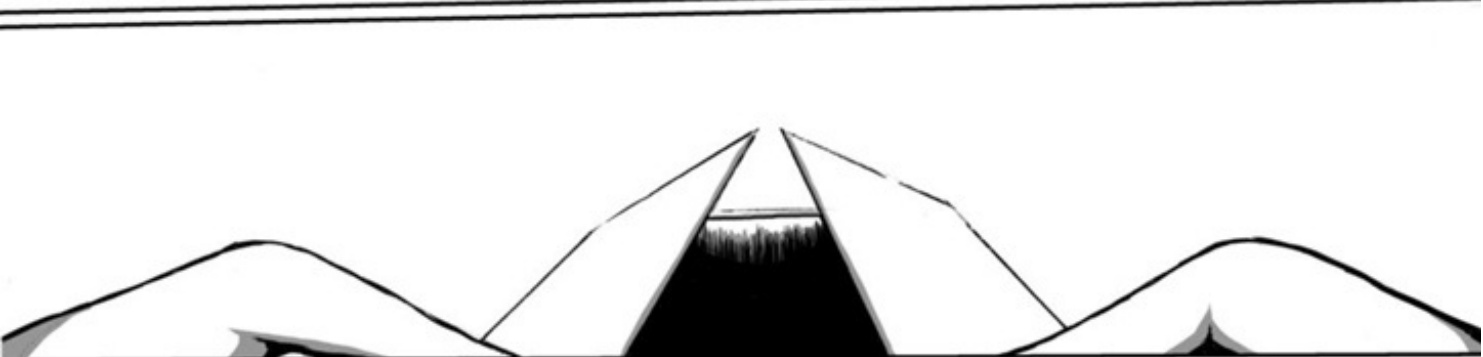
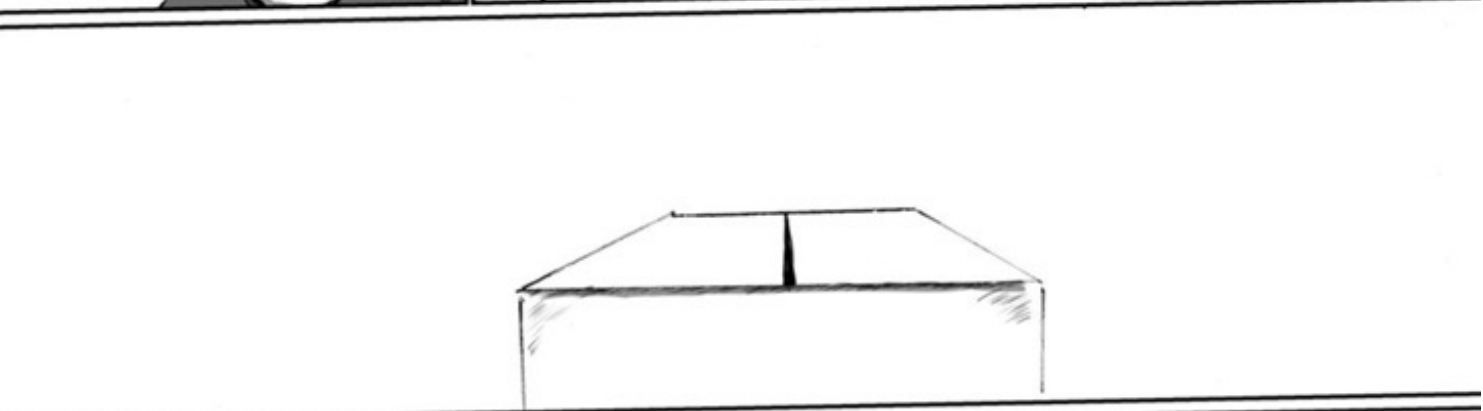
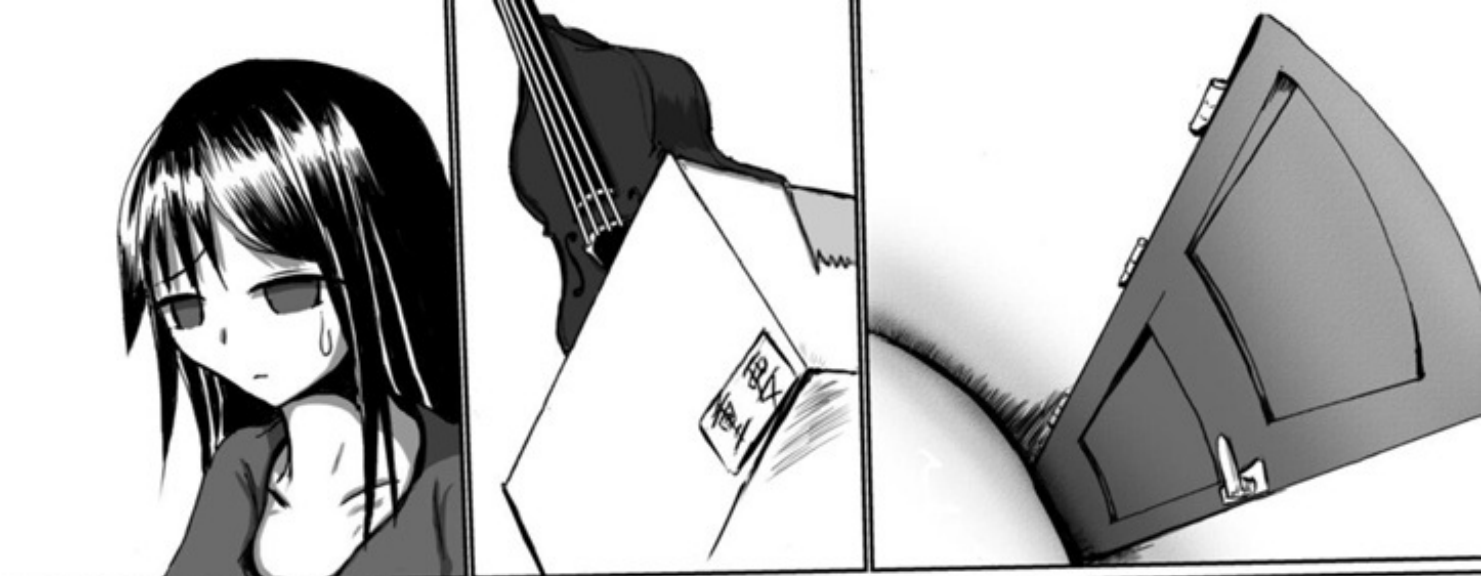
そう、なれば  
いいんですけど……

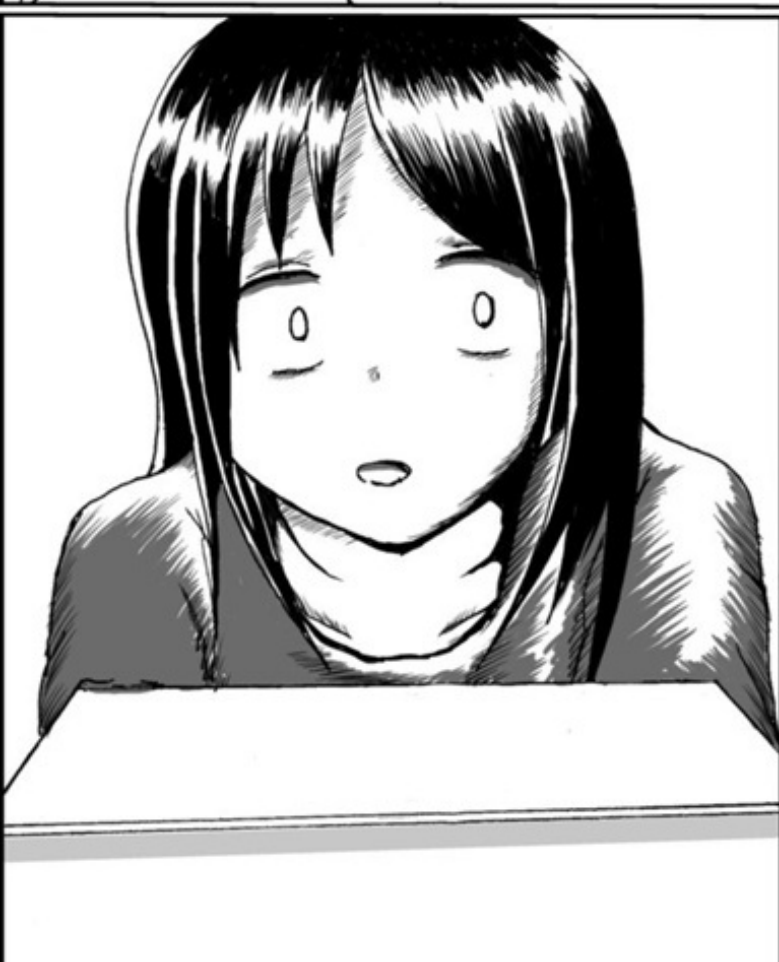
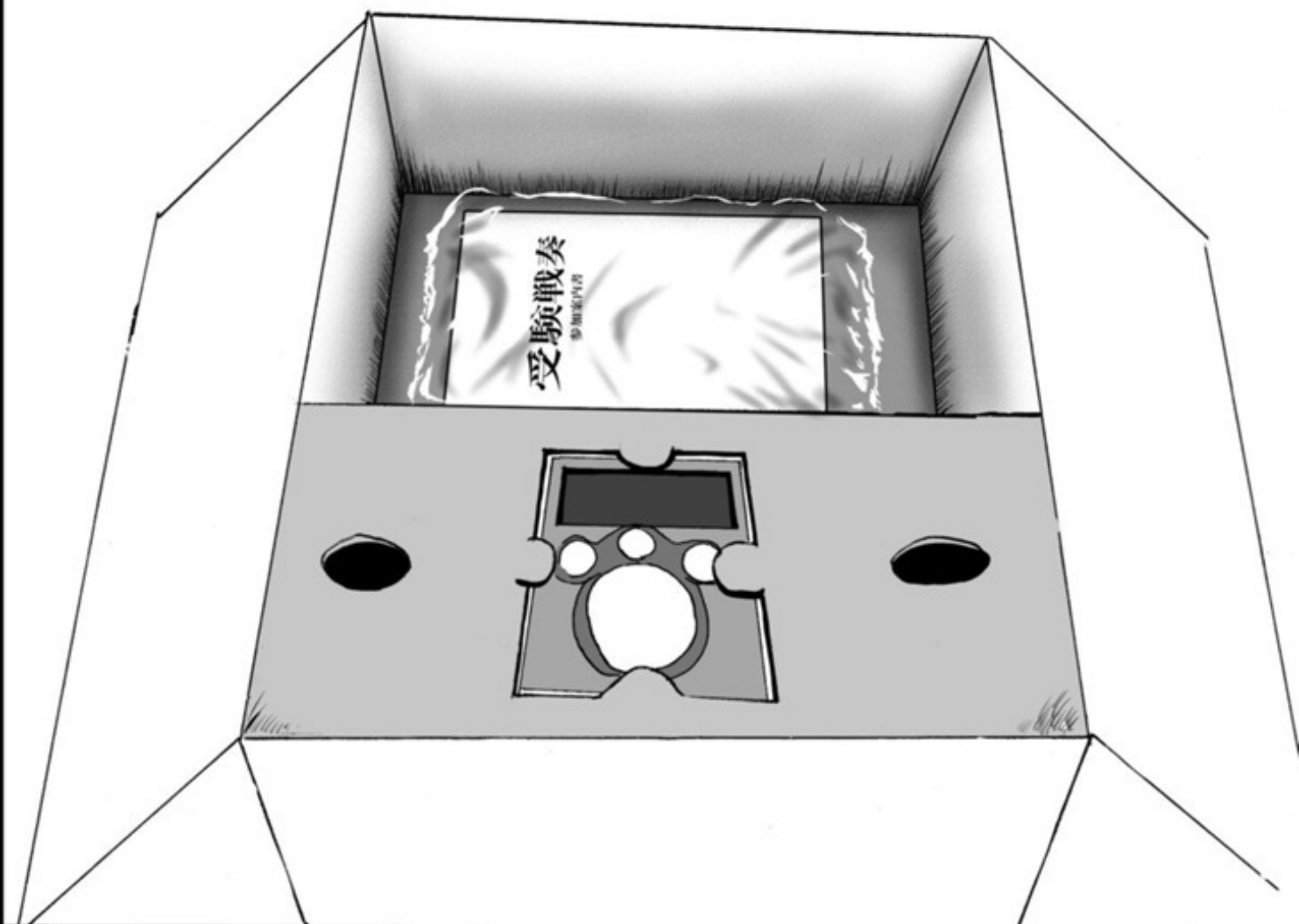


やつちゃんには  
素直だし、人から  
好かれるタイプの  
子よ

リョクちゃん  
るう子ちゃんと  
一緒なら、  
楽しいと思うけ  
どなあー









……  
っ  
!!

あ  
……

どうしよう……

パ  
パ  
……



きゃあ!?

プログレッツ  
シブーツ!!



よくわかんない  
けどよー、  
サウンドとか  
そういうんじゃ  
なくて、

その心なまじいが  
そもそも  
だめなんだよ



負けた……?

ギターの鳴りも、  
エフェクターも、  
こっちの方が  
勝ってたのに……?

崩



負け惜しみなんか  
言うヤツは論外だ


そんなの、  
ロックじゃない——



ロックでもない

ロックだよ!!

つづく!!



え……、  
どっち?